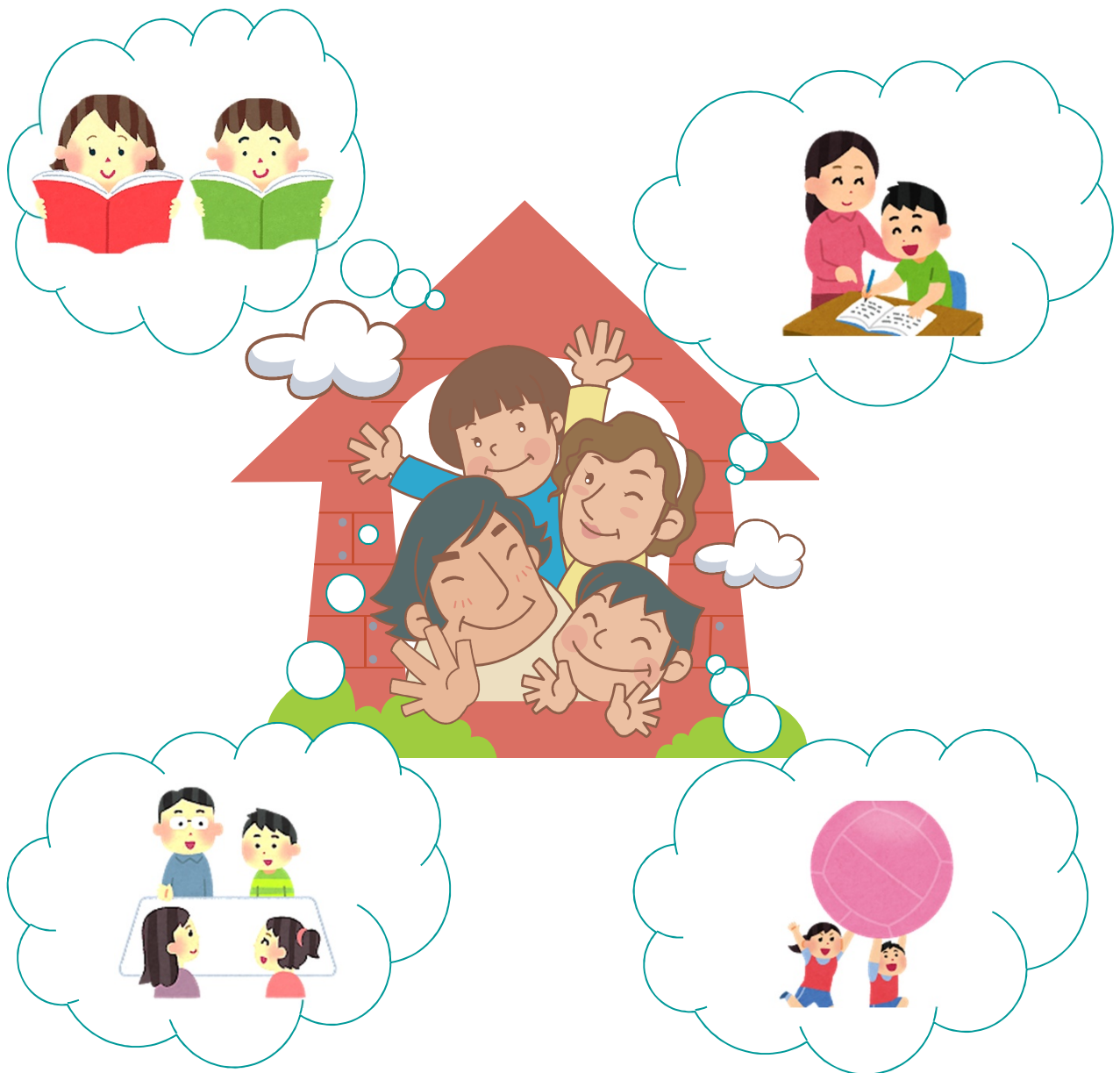


小学校1年～中学校3年
まで使えます

保護者のみなさまに

川西市 家庭学習ハンドブック



川西市教育委員会

目 次

1 . はじめに	1
2 . 家庭での 6 つのポイント	2
3 . 家庭学習についての Q & A	5
4 . 家庭学習の手びき	9
小学校 1・2 年生編	10
小学校 3・4 年生編	12
小学校 5・6 年生編	14
その他にも	16
中学校編	17
5 . スマートフォン等の利用については、ルールを 決めましょう	20
6 . 図書館に行ってみましょう	21
7 . 川西の歴史をたずねてみましょう	22
8 . 困ったときの相談窓口	23
9 . あとがき	

1.はじめに

基礎学力を定着させ、「学ぶ力」を育てるためには、学校の授業だけでなく、家庭での学習習慣が大きな役割を果たします。子どもたちが安心して生活できる家庭で、安定した生活リズムの中、毎日継続して学習に取り組むことが大切です。



市教育委員会では、これまでの学習内容や学習方法をふりかえり、より望ましい学習活動を行うことができるよう、毎年、検証しています。



学校と家庭の連携のもと、子どもたちの「学ぶ力」を育てていくために、家庭ではどのようなサポートをしたらいいのかについて参考にしていただきたく、『川西市家庭学習ハンドブック』を作成しています。

『川西市家庭学習ハンドブック』では、学習習慣の定着のために、どのようなことに取り組めばいいのかについて、「家庭での6つのポイント」にまとめご紹介しています。

「まずは、できるところから」「できる範囲で」このハンドブックを活用して、家庭での学習習慣を定着させていただきたいと願っています。



ご理解とご協力をお願いいたします。

1. 家庭での6つのポイント

早寝早起きの生活
リズムをつけましょう



朝ごはんをしっかり
食べましょう



家族との対話を大切
にしましょう



家庭学習の習慣を身
につけましょう



読書する時間をつくり
ましょう



学校に持っていくもの
を確かめましょう



ここに挙げたポイントの中には、全国学力・学習状況調査において、教科平均正答率と関係が見られものが含まれています。詳しくは、市ホームページ「全国学力・学習状況調査報告書」をご覧ください。(QRコード参照)



早寝早起きの生活リズムをつけましょう

初めての場所、初めての友達、初めての勉強・・・。
学校でいっぱいがんばった子どもたちは、大人が思うよりもかなり疲れています。十分な睡眠をとり、からだを休ませましょう。

また、早寝早起きの習慣をつけて、生活リズムを確立できるようにしましょう。

朝ごはんをしっかりと食べましょう

朝食は1日の生活のスタートです。朝食をとることにより、身体にエネルギーを補給し、集中力ややる気を発揮させ、日の身体のリズムを整えることができます。朝食をとる習慣を子どものころに身につけることは、生涯を通じて健康な生活をおくる基礎を培うことにもつながります。

家族との対話を大切にしましょう

学校での出来事や勉強したことを、おうちの人に伝えることも立派な家庭学習のひとつです。お子様の「伝えたい!」という気持ちを受け止めてあげましょう。会話の中で「今日はどんなことを勉強したの?」「それはどういうこと?」など対話をしましょう。家族の愛情を感じることで、自尊感情の高まりや社会で生きるための知恵・価値観を育みます。

家庭学習の習慣を身につけましょう

家に帰って来たら、宿題をする 明日の準備をする
が習慣づくようにしましょう。やることリストを作成し、
できたらシールを貼るなど、達成感が味わえるような工夫
も考えられます。できていること、できていないことが一
目でわかり、見通しをもって取り組む力が身に付きます。

(参考) やることリスト

やること	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24
こくごのしゅくだい					
さんすうのしゅくだい			なし		
きょうかしょ のーとのようい					
ふでばこのようい					
きゅうしょくのようい					

読書する時間をつくりましょう

本を読むことで、文字に親しみ、自分の世界が広がり、
いろいろなものの見方、考え方を知ることができます。本
のなかで、感じたこと、見つけたことは、これから生きて
いくうえで、大切な栄養になっていくはずです。

学校に持っていくものを確かめましょう

家庭学習には、
授業での理解を深める、授業内容を振り返って身に
つけるため
自ら学ぶ習慣をつけるため
といった役割があります。学校での学習を充実するため
にも、持ち物の確認も大切です。

3. 家庭学習についての Q & A

Q. どうして、家庭でも学習することが必要なのですか？

A. 子どもたちに、家庭での学習習慣を定着させ、基礎的な知識・技能を身に付けさせたいからです。

家庭学習を進めるにあたり、大事にしたいことが3つあります。

「その日の、学校で学んできた学習内容をしっかり復習すること。次の日、学ぶ内容を予習すること。」

「負担を感じることなく、できる内容や量であること。」

「できる喜び・わかる楽しさを感じられること。」



「できる喜び・わかる楽しさ」を感じながら、毎日少しずつでも机に向かえるようになれば、学習習慣は身についてきます。

このことにより、「自ら学ぼう、取り組もう」「家庭も学校と同じ学びの場である」という意識がめばえ、集中力や根気等も身についてくるでしょう。



Q . どれくらい、家庭学習をさせればいいのか？

A . 家庭学習の時間は、「15分×学年」がめやすです。

家庭学習の時間は、「15分×学年」がめやすです。
以下のようになります。

小学校低学年	1年生	ならば、	15分程度
	2年生	ならば、	30分程度
小学校中学年	3年生	ならば、	45分程度
	4年生	ならば、	60分程度
小学校高学年	5年生	ならば、	75分程度
	6年生	ならば、	90分程度



中学生ならば、105分～150分程度
(1年生で 105分程度)
(2年生で 120分程度)
(3年生で 135～150分程度)



学年が進むにつれて取り組むべき適切な時間や量を自分で決めて自分で実行できるようにさせていきたいものです。

Q . 家庭での学習について、どんなことに気をつければいいのですか？

A . 家庭学習に取り組ませる前に、「子どもにとって、学習しやすい環境を整えてあげましょう。」



「おかえりなさい。学校は楽しかった？
今日は、どんなお勉強をしたの？」

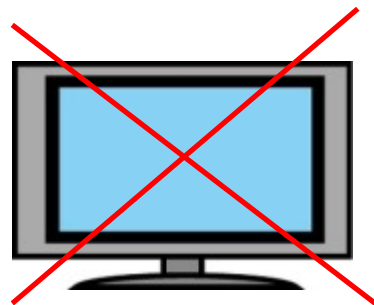
お家の方が、学校生活・学習状況に関心を持ちましょう！

『今、学校でどんな学習をしているのか』を把握しましょう。

『今日は、どんな宿題があるのか』毎日、連絡帳を確かめましょう。

学習に集中し、進めやすい環境を整えましょう！

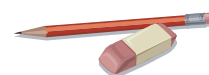
テレビやラジオ・CDなどは、
一旦消しましょう。



学習机の上を整理しましょう。

低・中学年のうちは、親の目が届くテーブルでさせるのもいいでしょう。

学習に必要な用具（ノート、消しゴム、鉛筆、定規、コンパス等）をそろえましょう。



Q . 親は家庭での学習にどのように関わったらいいですか？

A . 家庭学習に取り組ませる時間を確保しましょう。
家庭学習を進めている様子を見守りましょう。
子どものがんばりを認めてあげましょう。



「今日は、どんな宿題があるの？
宿題の後は 何をするの？」

- ・ 学校から出された宿題をまず最初にさせましょう。
- ・ 各学年の『家庭学習の手びき』を参考にして、宿題とは別に「自分で決めた学習」に挑戦しましょう。
- ・ 読書も挑戦しましょう。



「できたね。がんばったね。」

- ・ 学習したところには必ず目を通してあげましょう。
- ・ よくがんばっていることは認め、ほめてあげましょう。
気になる点があれば、サポートしてあげましょう。
- ・ 次の日の時間割や持ち物の準備、筆箱の中身がそろっているかなどの確認をしてあげましょう。
- ・ 時には、子どもががんばったことや、できていないことを担任にお知らせしていただくことも有効です。

学習につまずいていると感じたら・・・

担任の先生に早めに相談しましょう。どこにつまずいているか情報を共有しておく、家庭学習での声かけが的確になります。学年が上がるにつれ、内容が増え、抽象的な思考が必要な学習へと移行していきます。1年生のうちに基礎・基本をしっかりと身に付けさせましょう。また、自信をなくさないよう、できているところはほめ、前向きな声かけをこころがけましょう。



4. 家庭学習の手びき

お子さまが、宿題とは別に「自分で決めた学習」を進めようとするときの参考にしてください。

学年を表しています



目安となる家庭
学習の時間を表して
います

* 「学習内容」の特徴

身に付けさせたい学習のポイントを表しています

学校での「学び」の特徴を
示しています

* 国語に関すること

気をつけていただきたいポイントを表しています

国語に関する具体例
を表しています

* 算数に関すること

気をつけていただきたいポイントを表しています

算数に関する具体例
を表しています

その他にも・・・

国語・算数以外に、日常生活の中でのポイントも・・・

小学校低学年（1～2年生）



家庭学習時間の目安

15～30分程度

「学習内容」の特徴

【基本的な学習習慣をきちんと身につけよう】

「読み、書き、計算」など、基礎的・基本的な学習が始まります。教科ごと45分授業が基本です。先生の話をしっかり聞いて学習します。生活と結びついた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験したりします。

繰り返し練習することで、力のつく学習内容がたくさんあります。

「鉛筆を正しくもつ」「明日の学習を準備する」「整理整頓をする」も基本となる学習です。

国語に関すること

「、」や「。」に気をつけて、大きな声で正しく読みましょう。

姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、書き順や文字の形を意識して、ていねいに書きましょう。

見たことや思ったことを短い文で書きましょう。

単語でなく、文で話しましょう。

家族や友だちの話をじっくりと聞きましょう。

好きな本をたくさん読みましょう。

【家庭学習のポイント】

1年生、2年生の家庭学習は、家庭の手助けが必要です。「がんばったね。」「よくできたね。」といったほめ言葉が、学習意欲につながります。

この時期は子どもに好きな本をたくさん読み聞かせることも大切です。たくさん本にふれさせることが、「豊かな・確かな」国語の素地づくりとなります。

学校で学習する主な内容

- ・ ひらがな、カタカナの読み書き
 - ・ 新出漢字（1年新出漢字：80字 2年新出漢字：160字）
 - ・ 「伸ばす音」（おかあさん）、「ねじれる音」（きゃ、きゅ等）、「つまる音」（らっぱ）、「はねる音」（ん）などの表記
 - ・ 「は、へ、を」の使い方
 - ・ 「主語、述語」の使い方
 - ・ 教科書の音読
- ...等

算数に関すること

1年生では「繰り返し上がり」「繰り返し下がり」、2年生ではかけ算の九九を学習します。確実に定着させることが大切です。

正しく計算できるように繰り返し練習しましょう。

ノートに計算などを書くときは、見やすいように丁寧に書きましょう。

間違った問題は、必ずもう一度やり直す習慣をつけましょう。

《文章題を苦手にしないうために・・・》

中・高学年になると、文章題を解く機会が増えてきます。文章題が苦手になる原因の1つとして、なぜ「たし算」や「ひき算」、「かけ算」になるのか分からない場合があります。

式が合ってるから大丈夫と判断しないで、時にはなぜ「たし算」や「ひき算」、「かけ算」にしたか理由を確かめましょう。1・2年生は文章題の基礎を培う学年でもあります。

学校で学習する主な内容

- ・ 100までの数、1000までの数
 - ・ 主に1けたのたし算・ひき算、主に2けたのたし算・ひき算
 - ・ 時計の時刻をよむ、時間の計算
 - ・ かけ算の九九
 - ・ 長さ（mm、cm、m）、かさ（mL、dL、L）
 - ・ 三角形、四角形、箱の形をしたもの
 - ・ 絵や図、簡単な表・グラフ
- ...等

小学校中学年（3～4年生）



家庭学習時間の目安

45～60分程度

「学習内容」の特徴

【自ら学習に向かう姿勢を育てよう】

「社会科」「理科」や「総合的な学習の時間」「外国語活動」の学習が始まり、学習範囲が大きく広がります。

資料集や地図帳、辞典などを使い調べ学習をすることが多くなります。

新しい漢字を、たくさん習います。

算数では、分数や小数など、少しずつ抽象的な内容を学び始めます。

四則計算（ $+$ $-$ \times \div ）の基礎・基本を徹底して学びます。

国語に関すること

意味のまとまりが正しく伝わるように読みましょう。

辞典などを利用して、わからない言葉や文字を調べましょう。

正しい筆順で、「はね・はらい・とめ」を意識して書きましょう。

習った漢字を使って、文章を書きましょう。

段落や「」など、表記のしかたを使いこなせるようにしましょう。

主語・述語をはっきりさせ、語尾まできちんと話しましょう。

家庭でも「読書タイム」をつくり、本に親しみましょう。

【家庭学習のポイント】

学習範囲が広がることで、学習にも個人差が出てきます。そのような時は、友だちや兄弟・姉妹と比べるのではなく、本人の「やる気」を見のがさないようにしながら、温かな励ましやアドバイスによって、子どもの学習意欲を引き出していくことが大切です。

言葉を豊かにすることにつながる読書は大切です。中学年でも読み聞かせをしたり、図書資料を一緒に探したりして、お家の方との会話のきっかけをつくることもよいことです。

学校で学習する主な内容

- ・新出漢字（3年生新出漢字：200字 4年生新出漢字：202字）
- ・ローマ字
- ・ことわざや慣用句、故事成語などの意味や使い方
- ・国語辞典、漢字辞典の使い方
- ・指示語や接続語の意味や使い方
- ・図表や絵、写真などの資料を活用し、「話す」「聞く」「読む」「書く」活動
...等

算数に関すること

計算手順が正しく身につくよう、毎日、練習をしましょう。
ミニ定規を活用し、筆算は位をそろえて丁寧に計算しましょう。
コンパスや分度器といった道具が使えるように、練習しましょう。

《見積もりって・・・》

中学年になると「億」や億を超える大きな数や「概数」というおよその数の学習をします。また、「概数」の学習では、「切り捨て」「切り上げ」「四捨五入」や「ある位までの概数」「上から1けたや2けたの概数」といった複数の概数の表し方を学習します。

例えば、買い物のときに、「切り捨て」「切り上げ」「四捨五入」の考え方を用いて、およその金額を見積もるといった日常生活の中で、学習内容を使う体験は効果的です。学習した内容が活用できることを実感することで、およその数を用いて見積もるといったことが身近に感じることができます。

買い物リスト	
たまねぎ	386円
トマト	292円
にんじん	247円
肉	395円

十の位を四捨五入すると

$$\begin{array}{cccc} 386 & 292 & 247 & 395 \\ \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\ 400 & + 300 & + 200 & + 400 = 1300 \end{array}$$

十の位を切り上げて計算すると

$$\begin{array}{cccc} 386 & 292 & 247 & 395 \\ \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\ 400 & + 300 & + 300 & + 400 = 1400 \end{array}$$

十の位を切り捨てて計算すると

$$\begin{array}{cccc} 386 & 292 & 247 & 395 \\ \downarrow & \downarrow & \downarrow & \downarrow \\ 300 & + 200 & + 200 & + 300 = 1000 \end{array}$$

学校で学習する主な内容

- ・かけ算・かけ算の筆算、わり算・わり算の筆算
- ・小数や分数の計算
- ・単位（km、g、kg、cm²）
- ・円と球、面積、平面と立体、コンパスや定規、分度器を使った作図
- ・およその数
- ・棒グラフ、折れ線グラフ
...等

小学校高学年（5～6年生）



家庭学習時間の目安

75～90分程度

「学習内容」の特徴

【自ら計画を立て、自力で学習を進める】

「家庭科」や「外国語」といった新たな学習活動が始まります。学習内容が多岐にわたり、社会や世界に目を向けた学習もします。筋道立てて考える論理的な内容の学習や抽象的な内容の学習が増えます。自分で課題を見つけ、解決していく学習（問題解決的な学習）が多くなります。自ら学ぶことの面白さや楽しさを経験させ「学び方」「ものの考え方」を学びます。

国語に関すること

間を取りながら読むなど、自分のめあてを決めて練習しましょう。
詩や俳句、短歌などを暗唱したり、朗読したりしましょう。
興味をもった分野・人物の話を読むこと。
小さな文字や活字ばかりの文章に慣れましょう。
漢字の構成や字形を意識して練習しましょう。
記録文や報告文などの文章を書きましょう。
学習課題にそって、自分の考えをまとめましょう。
相手の立場になって聞き、自分なりの意見をもちましょう。



【家庭学習のポイント】

この時期から、学力の差がつきやすいことから、家庭においても、学習を計画的に行っていけるように、子どもの学習に取り組む姿勢を見守り、意欲や興味・関心が持続できるように励ましやアドバイスしていくことが大切です。

新聞やニュースなどを話題にすると視野も広がり、中学校へ向けて社会生活に必要なことばの力をつけることにつながります。親子でお互いの考えを話したり、考えを深めていったりする環境づくりが、大切です。

学校で学習する主な内容

- ・新出漢字（5年生新出漢字：193字 6年生新出漢字：191字）
- ・伝統的な言語文化（俳句、短歌、古典、漢文、狂言など）
- ・引用したり、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書く
- ・敬語（尊敬語、謙譲語、丁寧語）の使い方
- ・文章に表れる様々な表現（比喩、反復など）の工夫に気付く
- ・自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成を考えて書く ...等

算数に関すること

よく間違える計算は、繰り返し練習しましょう。
答えの確かめを、自分でできるようになりましょう。
表やグラフからどのようなきまりがあるのか見つけましょう。また、答えの求め方を、式や図、表、グラフを用いて文章で説明しましょう。
図形の長さや角度を求めるだけでなく、図形の性質や定義をよく理解しましょう。
新しく学習する内容を予習して、学習の見通しをもちましょう。

《割合・・・実際の生活の場で使わせる》

スーパーなどに行くと「1000円の品物を20%引き」とか「3割増量」などという言葉をよく見かけます。そういう機会を捉えて、「1000円の20%引きって書いてあるけど何円で買うことになるの？」などと、お子様に聞いてみるのもよいでしょう。

20%引きって
どういうこと？



$$1000\text{円}の20\% \\ 1000 \times 0.2 = 200$$



学校で学習する主な内容

- ・割合とグラフ、体積、合同、円周率
- ・小数のかけ算・わり算、異分母のたし算・ひき算
- ・分数のかけ算・わり算、速さ
- ・比、比例と反比例、文字を用いた式
- ・拡大、縮小、対称
- ・統計的な問題解決（問題-計画-データ分析-結論） ...等

その他にも・・・

お子様が「もっと勉強に取り組みたい」場合は自分で考えて行う勉強をすすめてみましょう。

- * 復習：今日、学校で習ったことを教科書やノートを見て、もう一度勉強する。
- 予習：明日習う勉強を教科書やノートを見て、勉強する。
- その他：自分の苦手なところや興味ある勉強をする。

* お家のお手伝いをしましょう。

* 社会で起きた出来事を話題として、話し合きましょう。

* 親子で同じ本を読みましょう。

* 今、住んでいる地域や川西市の歴史や自然について、話し合きましょう。

* 今、住んでいる地域の行事に参加しましょう。

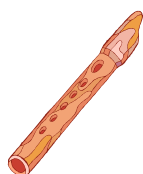
* いろいろな体験をしましょう。

- ・ 自然の中で遊ぶ
- ・ 体の不自由な人やお年寄り、困っている人のお手伝いをする
- ・ 調理のお手伝いや買い物
- ・ 動物の飼育
- ・ 花や野菜の栽培

けん盤
ハーモニカの
練習



リコーダーの
練習



季節を見つける
観察



理科や社会の
調べ学習



古典・歴史もの
などの読書



中学校



家庭学習時間の目安

105～150分程度

学校では・・・



国 語

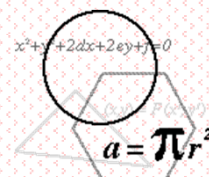
* 国語は、表現力や理解力を育てて、伝え合う力を高めること、また、国の言語文化に触れることにより、感性や情緒を育めるよう学んでいます。

- ・「話すこと・聞くこと」の領域では、構成を工夫して話すこと、話し手の意図を考えながら聞くことを通して、考えをまとめることを学びます。
- ・「書くこと」領域では、構成を考えて的確に書く、進んで文章を書いて考えをまとめることを学びます。
- ・「読むこと」領域では、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確に捉えること、読書を通じてものの見方や考え方を広げることが学びます。
- ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する」領域では、古典の世界に触れること、言葉の特徴やきまりなどを学びます。

数 学

* 数学は、論理的な見方や考え方ができるように、筋道立てて考え説明していくことができるようになるために学んでいます。

- ・「数と式」の分野では、一定のルールに基づいて、1つの答えを求める力を学びます。
- ・「図形」の分野では、直観的な見方や考え方を深めるとともに、図形の性質や関係・証明の仕方を学び、それらを用いて新たな図形の性質を見つける力を学びます。
- ・「関数」の分野では、二つの数量を取り出し、それらの変化や様子を調べ、関係を見つけ説明したり、図・表・式などを活用しながら特徴を説明する力を学びます。
- ・「データの活用」の分野では、資料に基づき、集団の傾向や特徴を捉え、それをもとに判断する力を学びます。



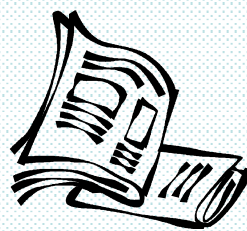
* 外国語は、言葉や文化に対する理解を深めながら、積極的にコミュニケーションをしようとする態度を養うこと。また、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」などのコミュニケーション能力の基礎となることから学んでいます。

- ・「聞くこと」では、語句や文を正しく聞き取ったり、例えば、スピーチやアナウンス、天気予報など、まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ったりすることを学びます。
- ・「話すこと」では、体験したことや自分の夢など、与えられたテーマについて簡単なスピーチをしたり、つなぎ言葉などを使いながら、会話を続けていくことを学びます。
- ・「読むこと」では、物語や対話文などを内容に合うように音読したり、物語のあらすじや説明文の大切な部分を読み取ることが学びます。
- ・「書くこと」では、聞いたり読んだりしたことについて感想を書いたり、身近な出来事や体験などについて、自分の考えや気持ちを書いたりすることを学びます。



* 国語に関すること

- 文章を読む習慣をつけましょう。
- 本や新聞等を積極的に読みましょう。
- 読みながら辞書を引く習慣をつけましょう。
- 復習の習慣をつけましょう。
- 宿題や指示された予習は必ずやりましょう。
- 漢字練習をしっかりとやりましょう。
- 文字をていねいに書きましょう。
- 正しい言葉づかいを心がけましょう。



* 数学に関すること

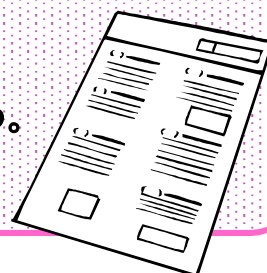
学校などで使用している問題集やプリントの問題を繰り返し解きましょう。

解いた問題は必ず答え合わせをしましょう。

まちがえた問題はできるまで解き、問題点を克服していきましょう。

授業のない日も数学を勉強する習慣をつけましょう。

定期テストや実力テストのあとには、まちがえた問題を正しい答えができるまで、やり直してみましょう。



* 英語に関すること



あらかじめ教科書の本文に出てくる新出単語の意味を調べ、本文をノートにうつすなどといった予習に取り組みましょう。

学習した教科書の内容を声にだして読みましょう。発音やアクセント、単語と単語のつながりなどを意識し、内容にあった読み方を心がけましょう。

新出単語や文法事項は、繰り返しノートに書いて覚えましょう。

1日の出来事や自分のこと、自分の考えなどを英語で表現したり、日記に書くなどしながら、学校で学習した表現を使えるようにしましょう。

テレビやラジオで英語を聞く機会をもちましょう。

毎日の積み重ねが大切です。
授業でならったことは、その日のうちに復習しましょう。



5. スマートフォン等の利用については、親子間でルールを決めましょう

インターネットは、多くの有益な情報が提供されており、便利に活用できるというメリットがあります。

しかしその反面、一部には心身が未発達な子どもが閲覧するには望ましくない情報もあり、保護者の目の届かない所で、スマートフォン等を使ってそれらの情報に触れることで、犯罪やトラブルに巻き込まれるケースが多く発生しています。

このような中、有害情報の氾濫からいかに青少年を保護するかが全国的な問題になっています。



使用させる前に、親子で一緒にチェックしてみましょう！

- インターネットやスマートフォンを使う上で、親子間のルールを決めていますか？
- 自宅では親の目の届くところでスマートフォンを使っていますか？
- インターネットやスマートフォンを使う際に、どんな危険が潜んでいるか説明できますか？
- ブログやプロフ、ゲームサイトなどのコミュニティサイトが持つ危険性について知っていますか？
- チェーンメールや架空請求メールへの対処法を知っていますか？
- 名前や住所、電話番号などの個人情報を公開することが危険なことを知っていますか？
- 著作権を侵害してはいけない理由を説明できますか？
- インターネット上の情報がすべて正しいとは限らないことを知っていますか？
- ネットトラブルの対処法を知っていますか？

～スマートフォンとの付き合い方を親子で一緒に考えましょう～

「スマートフォンを何に使うのか？なぜ必要なのか？」を考えましょう。

子どものインターネット利用状況や家庭環境に合わせて、家族の中で無理のないルールを考えましょう。

例えば・ ・ ・ 利用目的・使い方を決める 利用料金・利用時間・利用場所を決める
 個人情報や悪口は書き込まない 迷惑メールは何もせず無視する
 フィルタリングは設定する 困ったときは必ず親に相談する 夜間の使用時間を決める
 何かをしながらのスマートフォン使用はやめる ルール違反をしたら使用禁止 など

子どもの変化に目を配り、相談相手になるようにしましょう。

6. 図書館に行ってみましょう

川西市立中央図書館

〒666-0033

川西市栄町25-1

「アステ川西」4、5階

TEL：072-755-2424

FAX：072-755-2458

HPアドレス：<https://www.lics-saas.nexs-service.jp/kawanishi/>



阪急電鉄・能勢電鉄「川西能勢口」駅より徒歩約3分

JR「川西池田」駅より徒歩約5分

専用駐車場はありません

はじめて本を借りるとき (図書館カードの作り方)



川西市にお住まいの人

川西市内の事業所に勤務する人

川西市内の学校、幼稚園、こども園、保育所に通学、通園、通所する人は、登録して図書館カードを作ることができます。

- ・カウンターで、「資料貸出申込書」をもらい、必要事項を記載し、図書館カードの交付を受けてください。
- ・その際、氏名・住所が確認できる公的な書類（運転免許証・健康保険証・学生証など）をお持ちください。
- ・図書館カードは中央図書館、市内公民館図書室（黒川公民館除く）共通で利用できます。図書館カードは3年ごとに住所確認のうえ、継続して利用できますので、なくさないようお願いいたします。

7. 川西の歴史をたずねてみましょう

～かわにしの今昔～



川西市内の博物館・資料館・史跡



1 川西市歴史民俗資料館

美山台 3-5-1
TEL 072-740-1244
旧福田家住宅は、江戸時代中期の建築です。

4 満願寺

満願寺町 7-1
TEL 072-759-2452
奈良時代に創建されたと伝えられており、平安時代中期、源満仲が多田に館を構えて以降、源氏一門の祈願所になりました。



7 川西市文化財資料館

南花屋敷 2-13-10
TEL 072-757-8624
川西市内遺跡の発掘調査で出土した資料を整理、収蔵、展示する施設です。



8 宮川石器館

加茂 2-10-24
TEL 072-759-9077
地元の宮川雄逸氏が加茂遺跡で採集した弥生土器・石器などを展示しています。個人宅のため事前連絡（予約）が必要です。



2 川西市郷土館

下財町 4-1
TEL 072-794-3354
旧平安家住宅と旧平賀家住宅は、大正時代の建築として国の登録文化財となっています。

3 多田神社

多田院多田所町 1-1
TEL 072-793-0001
970（天禄元）年に寺院として建立されました。源満仲をまつっていることで広く知られます。



5 川西市立中央図書館

栄町 25-1 アステ川西 4・5F
TEL 072-755-2424
1991（平成3）年に開館し、ジャンルを網羅した蔵書で、あらゆる世代の人が利用しています。

6 加茂遺跡

加茂 1, 南花屋敷 2-3
弥生時代を象徴する巨大な環濠集落です。

【社会教育課】

8. 困ったときの相談窓口



1. 川西市在住の18歳までの子どもとその保護者の方を対象に、電話・面接による教育相談を実施しています。

心理・言語・発達・不登校問題行動に関することなど、子どもの悩みの相談を受け、子ども・保護者や学校・幼稚園・市立認定こども園への支援を、専門の相談員（臨床心理士・言語聴覚士・指導主事等）が行っています。

また、相談内容に応じて、専門医や関係機関への紹介も行っています。

2. 適応教室「セオリア」は、不登校で悩んでいる川西市在住の小・中学生を対象に平日開室し、小集団活動・体験活動などを通して、居場所づくりを行うとともに、社会的自立につなげるための支援を行っています。

3. 「気軽におしゃべり会」は、子どもの不登校で悩んでいる保護者の方々が気軽に話し合う場として、月1回開催しています。

なや でん わ そう だん
こども悩みの電話相談

おも なや
ひとりで思い悩むより、
ちよつと話してみませ
んか。



なや みせろ
TEL 758-7830

げつ きん し
月～金 9時～17時
(土、日、祝、年末年始は休み)

教育相談電話 072-757-8080

(電話相談・面接相談・相談予約)

適応教室「セオリア」

072-758-1728 (教育支援センター内)

9. あとがき

川西の子どもたちを健やかに育むためには、学校はもちろん家庭・地域など社会全体で取り組むことが大切です。

学校教育と家庭教育は、子どもたちを育む両輪です。

ぜひ、この機会に「家庭学習ハンドブック」をご活用いただき、子どもたちの家庭学習が定着・発展するようお願いいたします。



平成21年3月発行・令和2年4月第十二版発行(一部改訂)

川西市教育委員会教育推進部 学校教育課

TEL 072 - 740 - 1254